

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報

おおづ

Proud!
Japan
東日本大震災の復興を支援しよう

今年も大きなおいもがいっぱい！

12
DECEMBER 2013

今月のみどころ

からいもフェスティバルinおおづ
今年で25回目を迎えたからいもフェスティバルの様子をご紹介します

菊池地域合同特集 朝ごはんのチカラ
あなたの朝食はお米派ですか？パン派ですか？それとも……？

クローズアップ大津人
緒方妙子さん

Public relations
OZU TOWN



褒章の伝達式で撮影した一枚。胸に輝く緑綬褒章は、長年社会奉仕活動を続けてきたことが認められた証だ

Clozu-up
Ozu-jin
クローズアップ 大津人

広報 おおづ 2013 12

発行・編集 ■大津町・企画課
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293)3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>
※広報おおづは菊池地区に限定して発行され、大津町を離れている場合は購読できません。

UD
FONT
易やしく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



受章できたのは
周囲の人のおかげ
みんながいたから
今の自分がいる

おがたたえこ
緒方妙子さん（大津）

平成25年秋の褒章の受章者が11月に発表され、大津町の緒方妙子さんが緑綬褒章を受章した。緑綬褒章は長年自ら進んで社会奉仕活動に献身した人を対象とするもので、緒方さんは35年に及ぶ学校や施設での読み聞かせ活動が認められての受章となった。今回は、そんな緒方さんをクローズアップする。

町内外の学校や施設などで読み聞かせを続けてきた緒方さん。きっかけは、孫が幼稚園に通っていたころ、「同じ話でも、先生が話すよりうちのばあちゃんが聞かせてくれるほうが面白い」と発言したことだった。それを聞いた先生に頼み込まれ、一度だけという約束で子どもたちに話して聞かせると、それが評判を呼んだ。うわさを聞きつけたほかの園や小学校などからもお願いされるうちに、どんどん活動の幅が広がっていったという。そのきっかけを作った孫も今では40歳。緒方さんの活動は、気づけば35年になる。

方言を交えて語られる話はどれも生き生きとしていて、大人も子どもも夢中になる。そんな魅力的な話の数々は、祖母から教えてもらったり、本を読んで覚えたりした昔話を中心だ。その中から、緒方さんは相手の年齢に合ったものを選んで話している。内容は全て頭の中に入っているの、話をするときはずいぶん目を見ながら語りかけている。「これまで続けてくることができたのは、やっぱり読み聞かせをするのが好きだからです。ね」と話す緒方さん。だからこそ、こんなに長い間続けられたのだと笑みを浮かべながら教えてくれた。

こころの声

▼今月号には菊池地域の合同特集を掲載しています。テーマは「朝ごはん」なのですが、取材を進めるうちに、食生活も含め、自分の毎日の生活を見直す必要があればならないと感じました。一応、朝ごはんは食べる派ですが、休みの日は1日1食、もしくは2食しか食べないという日も珍しくありません。それではだめなのだということが、今回よく分かりました。反省します（1S）
▼2013年を私の視点から漢字一文字で例えるならば、「新」だと思います。新しい環境のなかで、新しい経験の連続。私にとって笑いあり涙ありの新鮮な1年でした。今年最後の目標、「1年以内に普通運転免許を取得する」を達成して、気持ちよく新年を迎えたいです（NA）